

平成30年度 公共事業再評価調書

1. 再評価調書

(区分) (国補)・県単

事業名	畑地帯総合整備事業 (国補)		事業箇所	甲州市勝沼町山・塩山西野原	地区名	山	事業主体	山梨県																																																
	当初計画	現計画	変更計画		(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)																																																			
計画期間	H22~H27	H22~H31	H22~H32		①地域・住民の意向状況 幹線道路や樹園地内道路を整備したことにより、ぶどうやももなどを求めて県内外から多くの人々が訪れるようになったため、この地域では生産のみから観光農業への転換意欲が増し、当面改植せず農業経営を継続する意向が強まっている。 また、獣害が深刻となっており、営農意欲を阻害する要因となっていることから、早急な獣害対策が望まれている。																																																			
総事業費	1,856百万円	2,180百万円	2,310百万円		②産業・経済情勢 なし																																																			
(1) 事業の概要																																																								
①事業目的及び効果 本地区の基幹作物である「もも」、「ぶどう」の果樹を中心とし、農作業の効率化や作物生産の向上を図るため、県営畑地帯総合整備事業を導入し、地区内の農道、水路及び区画の整備を行い、優良農地を確保するとともに、農地の集積等を進めることで、効率的で持続可能となる農地の利用を図る。 □主要目標 ○農業生産力向上 面積当たり農業所得増加額 760千円/ha ≥ 703千円/ha※以上 ※評価基準値 □副次目標 ○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 ○農業用排水能力の向上 □副次効果 ○遊休農地の解消 ○果樹園景観の保全																																																								
②事業概要																																																								
	現計画		変更計画		③国等の方針 なし																																																			
用排水路	L=2,493m	→	L=2,268m		④上位計画・関連事業計画等 ・ダイナミックやまなし総合計画(平成27年12月策定) ・新・やまなし農業大綱(平成27年12月策定)																																																			
農道	L=5,556m	→	L=5,207m		⑤自然環境条件等 近隣地区で鳥獣害防止柵の整備が進んだことにより、未整備である当該地区においてシカ・イノシシ・サルによる被害が深刻となっている。																																																			
区画整理	A=31.2ha	→	A=14.6ha		⑥その他 なし																																																			
鳥獣害防止柵	-	→	L=1,060m		(3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析]																																																			
③全体計画																																																								
	平成29年度まで		平成30年度(評価実施年度)	平成31年度以降																																																				
現計画	工事内容	用排水路 L=1,207m 農道 L=4,420m 区画整理 A=10.9ha	農道 L=336m																																																					
	事業費	1,948 百万円	100 百万円																																																					
変更計画	工事内容	用排水路 L=1,207m 農道 L=4,420m 区画整理 A=10.9ha	農道 L=336m	用排水路 L=1,061m 農道 L=451m 区画整理 A=3.7ha 鳥獣害防止柵L=1,060m																																																				
	事業費	1,948 百万円	100 百万円	262 百万円																																																				
④特記事項 なし																																																								
⑤これまでの評価状況 (平成21年度事前評価) この事業は、もも・ぶどうを中心とした果樹地域において、立ち後れている農道および水路の整備や、担い手への農地集積や作物毎の団地化を促進するための区画整理を行うものである。農作業の効率化や農業経営の安定化を図る上で必要な事業であり、実施が妥当である。																																																								
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>着手時点</th> <th colspan="2">変更計画時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>1,856 百万円</td> <td>2,310</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H22 ~ H27</td> <td>H22 ~ H32</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価基準年</td> <td>H21</td> <td>H30</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>1,827 百万円</td> <td>2,436 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>1,827 百万円</td> <td>2,436 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td></td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>3,038 百万円</td> <td>3,673 百万円</td> </tr> <tr> <td>品質向上効果</td> <td>606 百万円</td> <td>667 百万円</td> </tr> <tr> <td>作物生産効果</td> <td>510 百万円</td> <td>561 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理節減効果</td> <td>△29 百万円</td> <td>△71 百万円</td> </tr> <tr> <td>営農経費節減効果</td> <td>1,951 百万円</td> <td>2,516 百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>1.7</td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目	着手時点	変更計画時点		総事業費	1,856 百万円	2,310	百万円	工期	H22 ~ H27	H22 ~ H32		評価基準年	H21	H30		経済効率性	費用	1,827 百万円	2,436 百万円	建設費	1,827 百万円	2,436 百万円	維持管理費		百万円			百万円	便益	3,038 百万円	3,673 百万円	品質向上効果	606 百万円	667 百万円	作物生産効果	510 百万円	561 百万円	維持管理節減効果	△29 百万円	△71 百万円	営農経費節減効果	1,951 百万円	2,516 百万円	B/C	1.7	1.5	
項目	着手時点	変更計画時点																																																						
総事業費	1,856 百万円	2,310	百万円																																																					
工期	H22 ~ H27	H22 ~ H32																																																						
評価基準年	H21	H30																																																						
経済効率性	費用	1,827 百万円	2,436 百万円																																																					
	建設費	1,827 百万円	2,436 百万円																																																					
	維持管理費		百万円																																																					
			百万円																																																					
	便益	3,038 百万円	3,673 百万円																																																					
	品質向上効果	606 百万円	667 百万円																																																					
作物生産効果	510 百万円	561 百万円																																																						
維持管理節減効果	△29 百万円	△71 百万円																																																						
営農経費節減効果	1,951 百万円	2,516 百万円																																																						
B/C	1.7	1.5																																																						
					費用便益分析マニュアルにより算出 費用便益費(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。																																																			

2. 再評価調書

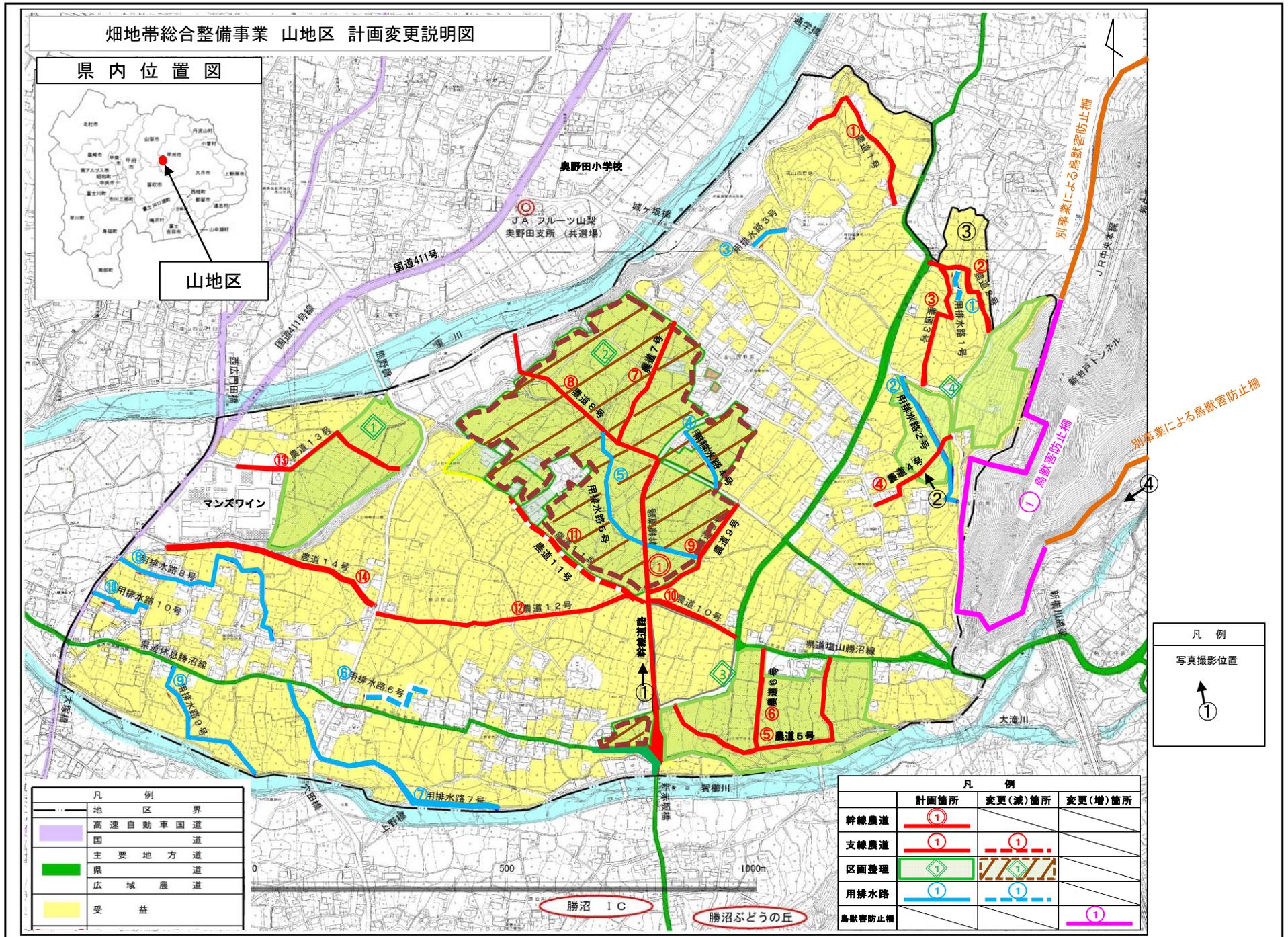
<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①これまでの計画変更等の概要 関係機関（道路管理者等）との協議の結果、線形の見直しが生じ、農道工や用排水路の構造を変更した。また、協議や地権者との用地交渉に不測の日数を要したため、計画期間を見直した。（平成27年度）</p> <p>完成年度 当初 H27 → 変更 H31 総事業費 当初1,856百万円 → 変更2,180百万円</p> <p>②進捗率 別表のとおり。</p> <p>③事業進捗が順調でない理由 道路管理者等との交差点協議及び、一部地権者との用地交渉に不測の日数を要したため。</p> <p>④今後の事業執行上の問題点 なし</p> <p>⑤変更計画の進捗予定（期間） 新規工種の鳥獣害防止柵を取り込むことにより、計画期間を1年延期して平成32年度の完成を目指す。</p>	<p>⑥変更計画の変更内容（事業費）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更工種等</th> <th>事業費増減</th> <th>変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用排水路工</td> <td>53百万円の増</td> <td>一部線形を変更する必要が生じたことに伴い、用排水路の構造物が大きくなり事業費の増となった。</td> </tr> <tr> <td>農道工</td> <td>136百万円の増</td> <td>交差点の改良に伴い、構造物が大きくなり、事業費の増となった。</td> </tr> <tr> <td>区画整理工</td> <td>84百万円の減</td> <td>一部耕作者の意向に変化が生じたことから、区画整理の対象地区を見直した。</td> </tr> <tr> <td>鳥獣害防止柵</td> <td>25百万円の増</td> <td>近年、獣害が深刻となっていることから、被害防止のために柵を追加する。</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>130百万円の増</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 評価項目 [環境負荷等への配慮] なし</p> <p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性] なし</p> <p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性] なし</p> <p>(8) 所管部の今後の方針 継続・<u>見直し継続</u>、その他（ ）</p> <p>(理由) 果樹産地を維持・発展させていくため、鳥獣害防止柵を追加したうえで事業を継続し、早期完成を目指す。</p>	変更工種等	事業費増減	変更理由	用排水路工	53百万円の増	一部線形を変更する必要が生じたことに伴い、用排水路の構造物が大きくなり事業費の増となった。	農道工	136百万円の増	交差点の改良に伴い、構造物が大きくなり、事業費の増となった。	区画整理工	84百万円の減	一部耕作者の意向に変化が生じたことから、区画整理の対象地区を見直した。	鳥獣害防止柵	25百万円の増	近年、獣害が深刻となっていることから、被害防止のために柵を追加する。	合計	130百万円の増	
変更工種等	事業費増減	変更理由																	
用排水路工	53百万円の増	一部線形を変更する必要が生じたことに伴い、用排水路の構造物が大きくなり事業費の増となった。																	
農道工	136百万円の増	交差点の改良に伴い、構造物が大きくなり、事業費の増となった。																	
区画整理工	84百万円の減	一部耕作者の意向に変化が生じたことから、区画整理の対象地区を見直した。																	
鳥獣害防止柵	25百万円の増	近年、獣害が深刻となっていることから、被害防止のために柵を追加する。																	
合計	130百万円の増																		

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100

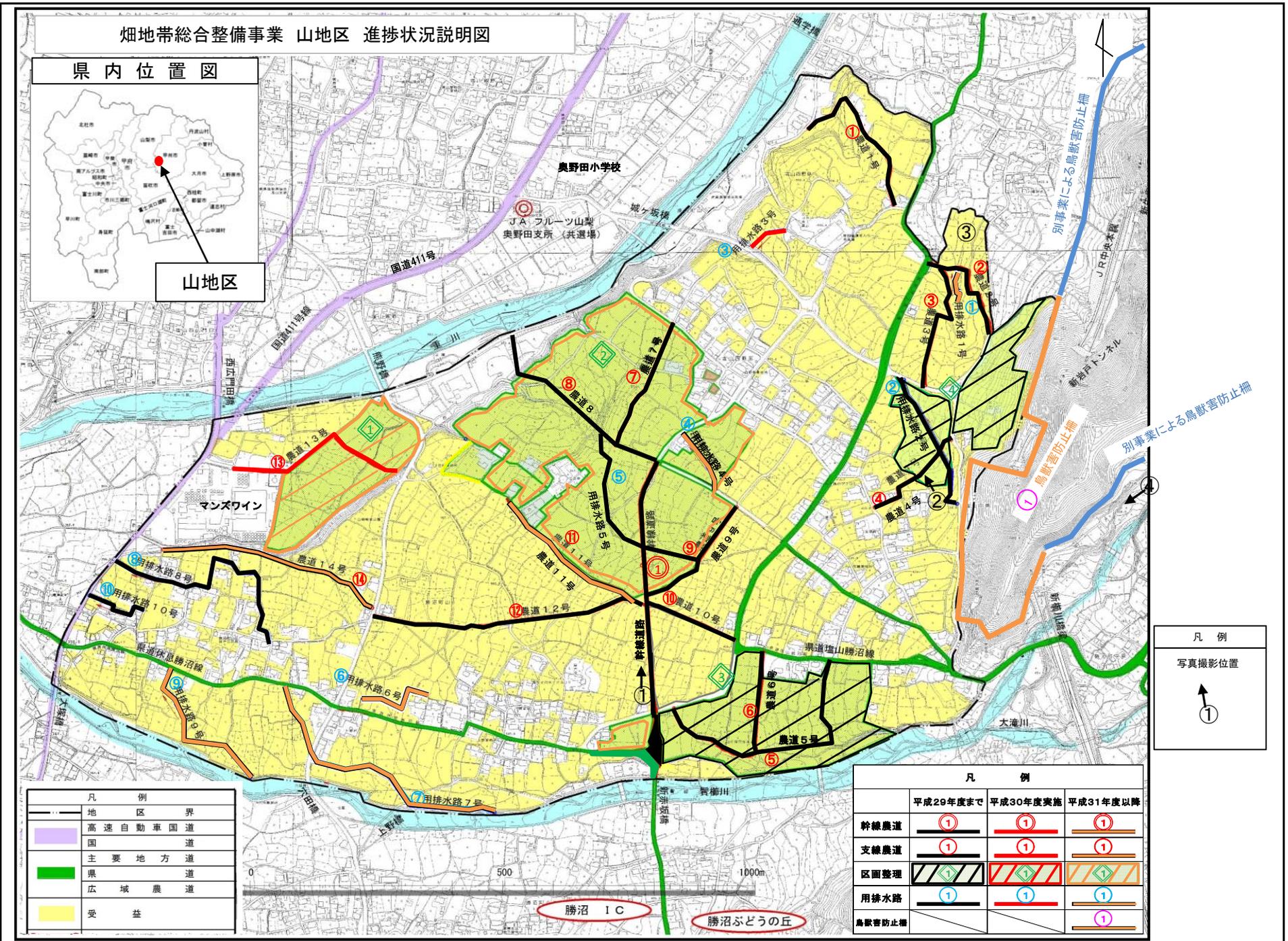
単位：%

	年度	*H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
現	計画	5%	21%	37%	53%	69%	85%	89%	93%	96%	100%	
	実績	5%	19%	38%	52%	59%	73%	81%	90%	94%		
変更計画										89%	94%	100%

3. 添付資料シート(1)



3. 添付資料シート(1)





①農道の活用状況



②区画整理状況



③観光農園



④鳥獣害防止柵の設置例

